

リユースびんが 繰り返しあなたの食卓に 届く仕組み



リユースびんって サステナブル※!

知って
いますか?

最初に戻り、あなたが注文→東都生協→あなたの元にお届けというサイクルが繰り返されます

きれいになったびんにしょうゆを詰めて、再び商品として東都生協へ

あなた(組合員)

リユースびんマークが目印!

あなた(組合員)が注文すると



あなたは、ガラスびんに入った調味料や飲料を利用していますか?
リユースびんは繰り返し使用でき、一度だけ使用してリサイクルに回されるワンウェイびんやペットボトルと比べて、環境にも人にも優しいことを知っていますか?
東都生協がリユースびんにこだわる理由を紹介します。

😊 リユースびんの商品って、こんなにあるのね!

現在
22
品目

ジャンジャン!



※社会福祉法人きょうされん リサイクル洗びんセンター 1994年、昭島市に東都生協ときょうされん(共同作業所全国連絡会)と共同して設立。障害のある人が孤立することなく豊かに地域で生活するための支援と制度づくり、そしてリユースシステムの実践を進めています。都内の生協、自治体、酒造メーカーなどにより供給される使用済みリユースびんを年間480万本洗浄し、メーカーへ出荷しています。

食品メーカーにとってリユースびんとは...

きんまる星醤油株式会社
岡本 将也さん
おかもとまさや

「東都国産丸大豆しょうゆ900ml」などのリユースびんの商品をご利用いただきありがとうございます。びん(リユースびん)は貴重な資源です。何度も洗うことにより無駄な資源を使わずご提供することができます。今ある1本1本を大切に扱い、特別な思いとともに今後も提供させていただきます。

VOICE

リユース・リサイクルに協力しています! リサイクル洗びんセンターの皆さんからのメッセージを見ると、さらに協力したいと思いました。

VOICE

もっとリユースびんの商品が増えればさらに良いと思います。

利用している組合員の皆さんからはこんな声!

VOICE

資源を有効に利用するよう心掛けています。びんにはリユースマークがあり、ふたやラベルは付けたままで返却できるのは助かります。

※サステナブル (Sustainable) は、sustain (持続する) と able (~できる) からなる言葉で「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味があります。世界共通の目標として取り組んでいるのが「サステナブル (Sustainable)」な社会の実現です。

誰もが安心して暮らせる社会のために /
未来につなぐ募金

東都生協では、誰もが健康で安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指す活動(団体)を応援、助成を行っています。組合員一人ひとりの思いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の商品に換えて応援する仕組みです。



団体名 コロナ対策プロジェクト in 港北

設立 2020年12月 **ボランティアの受け入れ** あり
代表者 金澤 順子さん **広報ツール** 駅や区役所前でのチラシ配布、
活動拠点 横浜市港北区 **ポスター掲示、支援対象者には**
活動内容 生活相談、食料支援 **直接お知らせを配布**
メンバー 10人

助成団体紹介
Vol. 26



お好きなものをどうぞ



今日も笑顔で頑張ります



洋服のたたみ方を教わります

私たちにできることは何?

2020年12月コロナ禍で雇止めや仕事が減り、生活苦の方々がたくさんいる中で「私たちに何かできることはないか?」と何人かに声掛けし、数日の準備で第1回目の食料支援を実施。とにかく後先考えずに走り出し、今回19回目を迎えました。会場内には早くから行列ができ、この団体がいかに支援を受ける人たちの生活のとりでになっているのかがわかります。東都生協のほか、フードバンクや地域の協力で、たくさんの食料や衣類も並べられ、気に入ったものがあれば持ち帰ることができます。当日は弁護士など専門家もスタンバイ。相談事がある人には無料で応じてくれます。

代表の金澤さんは「この支援が少しでも役に立つのならこれからも続けていきたい」と。この日は春休みで金澤さんの高校1年生のお孫さんもお手伝いに参加。「私も困っている人がいたら優しく手を差し伸べてあげられるような人間になりたい」と、おばあちゃんの後ろ姿を見て思ったそうです。

ここで支援を受けている人がボランティアに回ってくれることもあるとのこと。「みんなの力を借りて支え合っていく世の中にしていきたい」と笑顔で語る姿が印象的でした。



団体名 新宿こども食堂たんすまち

設立 2016年4月 **ボランティアの受け入れ** なし
代表者 齋藤 宏子さん **広報ツール** ホームページ(<https://www.shinjuku-kodomoshokudo.com/>) LINE
活動拠点 新宿区 **新宿区社会福祉協議会ホームページ**
活動内容 宅食、フードパントリー、こども食堂
メンバー ボランティアスタッフ52人

助成団体紹介
Vol. 27



ボランティアには元ホテルの総料理長もいて、調理することも!



この日に用意されたお弁当、パントリー、宅食の内容

「次世代を育てる場」

取材に訪れたのは、お弁当配布、パントリー、宅食配送の活動日。作業が始まる前から、高校生たちが楽しそうに段取りの確認をしていました。この団体は2016年に公衆衛生大学院の学生たちが立ち上げ、地域のママたちや専門職が力を合わせ、支援が必要な家庭とつながることを目的に活動を続けています。今では、設立当初の利用者のお子さんが高校生になり、有償ボランティアとして活動に参加しています。大人世代のボランティアスタッフの見守りの中で経験を積むとともに、同世代の他校の生徒との交流や情報交換の場にもなっているようです。

この日は大中小のボックス30個を準備。重い食料品は階下で若い世代が担当し、階上では高齢の方たちが軽いお菓子やパンを仕分け。世代ごとの役割分担で、作業は1時間ほどで完了しました。

家族構成・人数、年齢も考慮しながら、お腹いっぱいになるようにと工夫され、東都生協のいちごもチョコイスされていました。世帯によっては10kgの米が入り合計20kgを超えるため、宅配業者が配送。時間や受け取り場所を選択できるので利用者に好評だそうです。

配布直前に地元商店特製のお弁当も運び込まれ、談笑しながら手渡しされていました。活動拠点である新宿区内の商店から食料を購入するなど、地域に根付いた活動から地域のサポーターも徐々に増え、それに伴い、支援の内容も充実してきました。来年の開始を目指して無人パントリー事業も計画中とのこと。これから、ますます支援の幅が広がりそうです。



リユースびんは、必ず、東都生協へ返してね!

ガラスでできたリユースびんは、入っている中身の臭いや味が移らないので、洗うことで繰り返し使用できます。大切に使用すれば20~30回 繰り返し使うことが可能です。マークが付いた東都生協のびんを自治体の資源回収に出すと、そのまま再利用できるリユースびんも、砕いて溶かされ、再生利用(リサイクル)の原料になってしまいます。

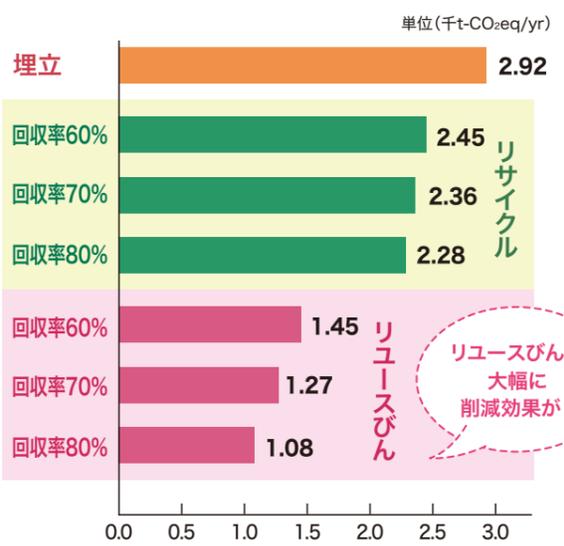
※リユース(リターナブル)びんを回収している自治体もあります

ラベルにリユースマークが付いているびんが対象です。



※牛乳びんはリユースマークが付いていません

温室効果ガス(GHG)排出量の比較



リユースびんは大幅に削減効果が!

2022年度実績に基づきます

びん再利用ネットワーク※
 「Rびんリユースの環境負荷削減効果に関する研究」より
 ※びん再利用ネットワークは、東都生協など4生協団体が加盟する環境保全・資源循環型社会の構築を目指した生協団体のネットワーク。4生協の合計で、およそ200アイテムの商品を、容量の異なる7種類の規格統一びんに詰めて共同購入しています



最近、びんの扱いが困難なことで消費が低迷しているという理由で、大手牛乳メーカーが次々とびん入り商品から撤退しています。しかし、同時に、びんで飲む牛乳や飲料のおいしさと価値が今、見直され始めています。

東都生協はこれからもおいしさと、安全・安心で、環境、福祉に貢献するリユースびんにこだわって、商品を展開していきます。

そのためにも、みんなでリユースびん商品の利用と返却を進めていきましょう。

**東都生協の
 リユース・リサイクル回収実績
 (2024年度)**



リユースびん
67.8%



こんな風に返してね!

商品のお届けに使用しているポリ袋/商品案内個別セット袋

27.5%



たまごパック(紙製)

96.6%



たまごパック(プラスチック製)

82.9%



紙パック

93.1%



トマト箱

88.8%



商品案内

76.8%